

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラス大野城教室		
○保護者評価実施期間	2024年12月5日		～ 2024年12月16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2024年12月9日		～ 2024年12月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月17日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・年間カリキュラムが決まっている為、5領域に応じてSST療育が行えている	・年間カリキュラムに応じて週間テーマが決まっています。当日の利用者様にに応じてトレーニング内容を工夫しており、日々、週間テーマは同じでも、内容を変えたトレーニングを実施しております。	・目的(トレーニングを通して身に付けてほしい事)、スキル、テーマ等を決め、指導案の作成を行っております。今後は、同じ課題の中でそれぞれの特性や状況に応じて療育が出来るようチームでの立案を継続して努めて参ります。
2	・送迎を行っていないこと	・自立通所が行えるように支援を行っています。自身で来所が出来るようにルートの確認等を期間を設けスタッフと一緒に『できた』と自信に繋げていくことが出来るように支援を行っております。	・学年に応じて、公共交通機関や自転車等での来所の提案を行っていく必要があるのではないかと感じている。 ・保護者との連携を図ることが出来るため、事業所からの到着、帰宅連絡等を継続して行って参ります。 ・現状、送迎は行わない方針である。その為、保護者送迎時に当日の様子やフィードバック等お子様の様子を詳しく伝達することが出来ている。
3	・公共交通機関を使った外出イベントが多い	・電車やバス等を使ったイベントでは、時間の逆算等と日常生活・自立に向け必要なスキルの定着を目的として取り組んでいます。	・外出場等に応じて参加年齢等を分けても良いと感じた。また、トレーニング内で公共マナーの説明等の必要性を感じた為、継続して療育内で取り組んでいきたいと思っております。 ・今後はICカード系の使用方法や手帳の使い方等について保護者と相談の上、取り入れていきたいと考えています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・送迎を行っていないこと	・自立に向けての支援・療育におもきをおいて支援を行うという運営方針	・現状、送迎は行わない方針である為、自力通所が行えるように計画作成、実施期間を設け支援を行っていく。
2	・年齢層が幅広い	・利用者様の年齢層が幅広くってきている(小1～高3までが在籍している)	・トレーニング内容を統一ではなく、中高生向けにしていく必要がある。イベント等は一緒に行っても良いが、週間テーマによっては年齢や発達段階に応じて個別対応等を行って行くなどの工夫が必要になってくる。
3	・重度肢体不自由・強度行動障害の方の受け入れが難しい	・事業所がバリアフリー化ではない為、車いす等の利用やトイレ介助等のスペースを取ることが難しい状況	・強度行動障害等に関しては、研修等の受講を検討している。重度肢体不自由の方については受け入れ環境が整っていないこともある。車いす等についてはスロープ等での対応など工夫が必要であると感じている。